平成２４年度 土木学会選奨土木遺産 公募候補推薦調書（申込書）

記入日　　年　月　日

候補の名称 （ふりがな）	（はなぬきがわ　だいいちはつでんしょ　だいさんごうすいろきょう） 花貫川第一発電所第三号水路橋
完成年	大正７年（１９１８）
諸元・形式等	鉄筋コンクリート造り二連アーチ橋 橋長　７７ｍ、高さ　２２ｍ 水路幅　２ｍ、深さ　１．５ｍ、流量　毎秒１．１㎥
推薦理由	・花貫川第一発電所は、地元の多賀電気（株）により、大正７年に茨城県北部の二級河川花貫川に開設された流れ込み式発電所であり、現在も稼働中である。 ・当時、日立製作所や常磐炭礦の生産が伸びて行く中で、電力需要の増加に応えたもので、茨城県における初期の水力発電所である。 ・当アーチ橋は、発電用水を上流の取水堰から水圧鉄管に導水する全延長約２．２㎞の水路のうち、渓谷を渡河する区間に建設された橋梁である。 ・橋脚は、河床から約１５ｍが石積み構造で、その上に山に向かって鉄筋コンクリート製の２つのアーチが架けられている。 ・また、スパンドレル部には、コンクリート製の直材が導入されており、わが国の橋梁分野におけるコンクリート導入の初期の造形を窺える。 ・花貫川沿川地域は、県立自然公園に指定され、紅葉の名所ともなっており、その中で当アーチ橋は観光スポットの一つとして「ねがね橋」の愛称で親しまれている。
所在地	茨城県高萩市大字秋山字板木

管理者	東京発電株式会社 （施工者　鹿島建設（株））
管理者連絡先 （同意を得ている担当部局・担当課・係名まで記入）	〒３１７－００６１ 茨城県日立市東町１丁目８番１１号 東京発電株式会社　茨城事業所 電話番号：０２９４（２４）５３１１
選定された場合に実施を予定しているアピール方法 （選定前ですので、選定されたら実施したいと考えている内容で結構です）	・土木学会関東支部茨城会が、土木の日の行事の一環として実施している見学会や講演会に土木遺産紹介を組み込むと共に、茨城県や県内建設関係団体が共同して例年実施している建設事業に関するＰＰＲイベント「茨城県建設フェスタ」で披露する。 ・茨城県土木部、（株）東京発電のホームページや土木学会関東支部茨城会のホームページ及び広報誌等に掲載しＰＲする。
選奨土木遺産公募に関する連絡ご担当者	〒３１８－０００３ 茨城県高萩市下手綱１４０５－２ 茨城県高萩工事事務所 担当者名：澤畠　守夫 電話番号：０２９３（２２）２１７５ FAX 番号：０２９３（２３）１２４１ E メール：m.sawahata@pref.ibaraki.lg.jp

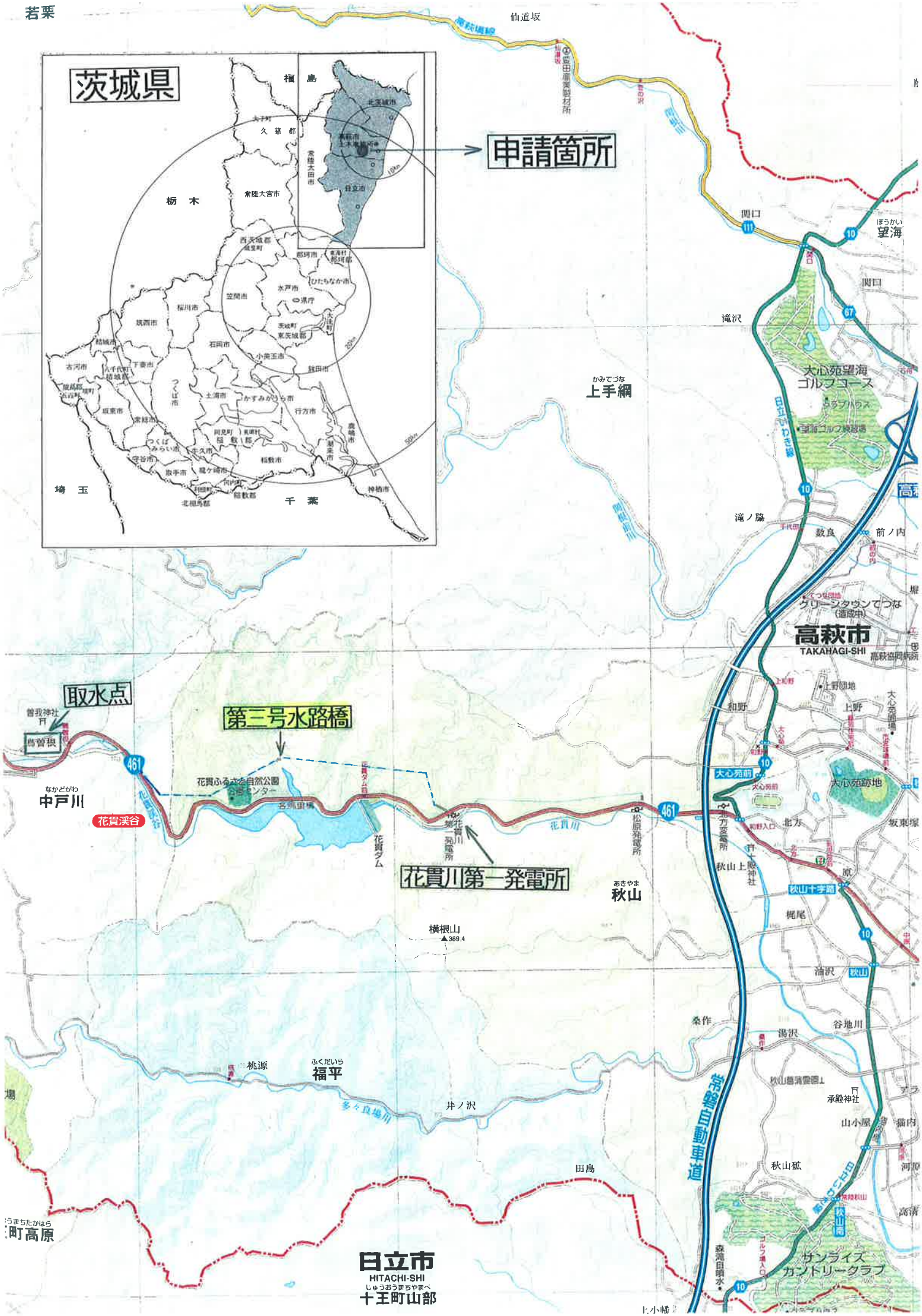
※次ページ以降に写真等を貼り付けてください。

※施設管理者の同意書を添付してください。（様式は自由です）

※記入欄は適宜増やしてください。

※E メールにて提出される場合は、このファイルに必要事項を入力し、E メールに当ファイルを添付の上、inf2@jsce.or.jp までお送り下さい。

若栗


茨城県
福島
栃木
埼玉
千葉
久慈郡
常陸大宮市
常陸太田市
日立市
高萩市
北茨城市
申請箇所
仙道坂
関口
望海
滝沢
上手綱
大心苑望海ゴルフコース
滝ノ脇
前ノ内
高萩市
TAKAHAGI-SHI
取水点
第三号水路橋
中戸川
花貫渓谷
花貫ダム
花貫川第一発電所
秋山
横根山
389.4
桃源
福平
井ノ沢
田島
常磐自動車道
十王町山部
サンライズカントリークラブ

国の登録有形文化財

花貫川第一発電所第3号水路橋

（通称めがね橋）

登録日　平成十一年十一月十八日
所在地　高萩市秋山二九八九番地
所有者　東京発電株式会社

この水路橋は、鉄筋コンクリート造二連アーチ橋で、橋長約七七m、幅員約二m、高さ約二二mである。橋脚は沢の谷から石を約一五m積上げ、その上部はコンクリートにより両側の山に向かって二つのアーチがかけられ、これが眼鏡のように見えることから通称「めがね橋」と呼ばれており、現在も使用されている。

大正七年に花貫川第一発電所の設置に伴い、導水のために設置された。取水口は、鳥曾根（とうそね）にあり、山の中腹を掘り抜き導水されている。

スパンドレル部（上桁と下桁に挟まれた部分）に位置する直材に、わが国の橋梁分野におけるコンクリート導入初期の造形がうかがえる貴重な近代遺産である。

平成十二年七月

高萩市教育委員会

花貫川第一発電所第三号水路橋について

名馬里沢上流側より

名馬里沢下流側より

上部水路

施工中の第三号水路橋。説明には「花貫川水力電気工事大澤拱橋 径間65尺二連総延長265尺高さ74尺」とある。
橋の中央部と右側にカメラ方向を向いた人が全部で29人いて、作業員も含めた施工中の記念写真であることがわかる。

建設当時の鹿島組の施工現場写真(「鹿島の軌跡」より)